

よしかわICT教育通信

発行：R3.10 吉川市教育委員会 ☎984-3564（学校教育課） Vol. 5

◆タブレット端末の持ち帰りに向けて

GIGA スクール構想の本格運用が始まって早半年。学校ではタブレット端末の利活用が徐々に増えてきました。

子供たちが端末をノートや鉛筆と同じ「学びの1つの道具」として使いこなすための取り組みとして端末の持ち帰りがあります。

端末を持ち帰り、右のようなデジタルドリルに取り組んだり、タイピング練習、調べ学習などをしたりする中で、子供たちは情報活用能力等を養っていきます。

現在、市では今後に向けセキュリティ設定やルール作りなど必要な準備を行い、持ち帰り時期を含めて学校と調整を進めています。

健康面への配慮について

学校でタブレット端末を使用する際は、基本的に文部科学省が出す、健康面に関する注意点等に沿った使い方を行っています。

端末をご家庭に持ち帰った際には、右図および以下の内容を参考にお子さんへのお声掛け等をお願いします。

- 30分に1回は20秒以上画面から目を離して遠くを見る
- 部屋の明るさに合わせ画面の明るさを調整する

Wi-Fi 環境の準備を

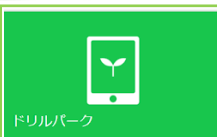
タブレット端末による学習はインターネットに接続して使用することが基本となるため、保護者の皆様には、ご家庭のWi-Fi環境の整備にご協力をお願いします。

通常時の端末持ち帰りや、新型コロナウイルスの影響による自宅学習など、様々な場面でWi-Fi環境が必要となる場合がありますので、この機会に準備をお願いします。

「未来を創る」子供たちを支えるタブレット学習ソフト

トライビッド

今年度市が導入している学習支援ソフト（↓アプリの一部）



ドリルパーク

一人一人の解答結果に合わせたドリル出題が可能な個別学習ドリル。



オクリンク

発表資料の作成や子供同士の協働作業が可能なツール。



ムーブノート

1人1人の意見をクラス全員に素早く共有し整理できるツール。

Google Workspace for Education



Google社が提供する教育向けのクラウド型統合アプリケーション。安全な環境で様々なアプリが使用可能。



「教育の情報化に関する手引-追補版-【文科省】」に一部追記

モバイルルーターの貸出について

通信契約及び通信費については各ご家庭で負担していただくこととなりますが、通信環境に必要なモバイルルーターについては、希望するご家庭に貸し出しを行います。

吉川市 モバイルルーター 検索
教育総務課 ☎048-984-3565



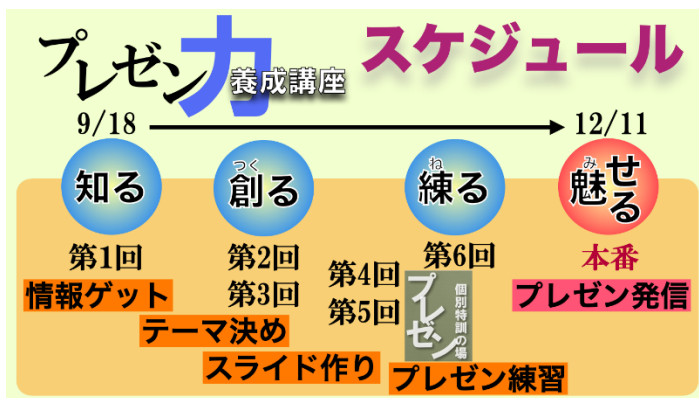
りよく ◆プレゼン力養成講座スタート

市では相手意識や目的意識を持った「わかりやすく」「効率的な」プレゼンテーションの作成をとおり、自己肯定感等の非認知能力や情報活用能力を高めることなどを目的として、「プレゼン力養成講座」を開催しています。

今年初めての取り組みとなるこの講座。夏に参加の募集をしたところ、22名の小中学生が応募しました。

参加者は9月から計6回ある講座をとおりしてプレゼン力を磨き、12月に市民交流センターおあしすで開催される「吉川市児童生徒プレゼンテーション大会」で成果発表を行う予定です。

講座の中で自分の思いを表現するために、情報を取捨選択・整理する、見やすい画面を作る、分かりやすい説明をするなどのことを学び、発表に臨みます。



●講座は前号で紹介した教育指導支援員 大西久雄先生の講義からスタート。「自分の思いや考え、アイデアを自分の言葉で語り、他の人を納得させ、心を動かし行動してもらおうのがプレゼン」などの説明を聞きました。



●上手なプレゼンの動画を見ながら、身振り手振り・声・姿勢・目線などの良いところを書き出した後、プレゼンテーマを自由に設定。自分なりに6枚のスライドの構想を描きます。



●自宅に持ち帰った端末でスライドの作成を続け、大西先生がオンライン上でアドバイス。



●構想シートについて大西先生のチェックを受ける子供たち。話の展開の仕方など先生と一緒に考えました。OKが出た人からタブレット端末でスライドづくりを始めます。

I C T 術

いつもちゃんとつかおう
じゅつ

ネットは便利、でも 全てが正しい訳ではない

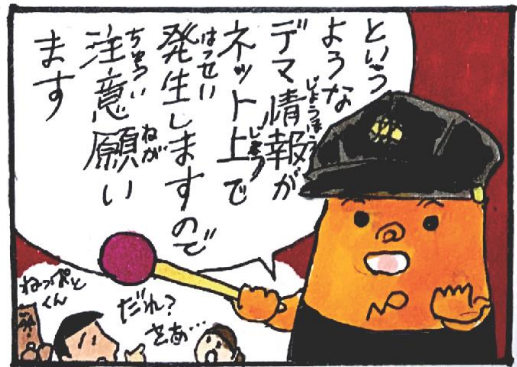
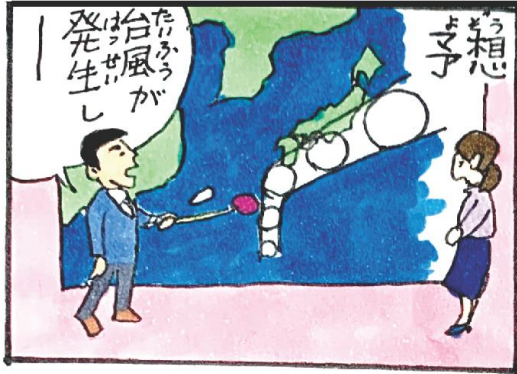
情報端末を開けば、ネット上の様々な情報が簡単に手に入るとても便利な時代となっています。

しかし、その情報を簡単に信じてしまうのは？です。

ネットにある情報は貴重な価値あるものから、人を騙すことを目的で流しているもの、多くの人の注目を集めたい無責任なもの、人が混乱するのを快感とする迷惑なもの等々、玉石混淆（ぎよくせきこんこう）な状態です。

特に大きな災害や人が注目する出来事などでは、怪しい情報が流れやすくなります。

第5回
インターネット
情報をすぐ鵜呑みに
しない姿勢を



自分がSNSで拡散する側にもならないように気をつけよう!

話し合い



秋も深まっていますが、最近はまだ台風なども懸念される昨今です。

大きな台風が接近している、巨大地震で被害が発生した、こうしたときにこれまでも事実ではない被害情報や危険性などがSNS等で発信されてきました。

そうしたものを目にしたときにどうすべきか、家族などで話をしてみることをお勧めします。「こんな情報を見つけたんだけど・・・どう思う」こうした習慣が、安易にネット上の情報を信じない、他にも当たってその真偽を確かめる姿勢、力を磨くことになります。